回復期リハビリテーション病棟　クリニカルアウトカム

2026/10/1

①退棟者数：回復期リハビリテーション病棟を退棟された人数

（2026年7月～9月）

138

②回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

（2026年7月～9月）

疾患区分	南3階病棟	南4階病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷後の発症後、若しくは手術後の状態、多発性硬化症の発症もしくは手術後、義肢装着訓練をようする状態	14.1%	14.4%
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頚髄損傷・頭部外傷を含む多発外傷	61.3%	56.3%
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節又は二肢以上の多発骨折の発症後若しくは手術後	19.9%	15.0%
外科手術または肺炎等の治療時の安静による廃用症候群その他のリハビリテーションを要する状態の患者であって、一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力及び日常生活能力の低下を来しているもの。	4.5%	12.9%
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の神経、筋、靭帯損傷後の状態	0.0%	0.0%
股関節または膝関節の置換術後の状態	0.0%	0.0%
リハビリ対象外	0.2%	1.4%

③実績指数：回復期リハビリテーション病棟に入棟された方のリハビリテーション提供実績（FIM改善結果）が一定以上の水準であることを示す指数。
基準は42以上。

51.2

期間　2026年4月～2026年9月